

# 音楽科のベストミックス

～「音楽科で大切にしたい学び」と「ICTの効果的な活用」～

東濃教育事務所

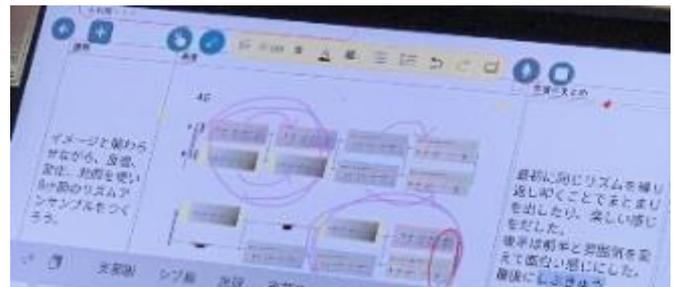
表現領域においては、自分の表現（歌唱・器楽・創作）をどのように表現していくのか、思いや意図と照らし合わせながら、試行錯誤を繰り返して自分の表現をよりよくする学習活動を進めていくことが大切です。

ICT機器の活用にあたっては、自分の表現を客観的に捉えることや、主体的に学びを進めるための一つの手立てとして用いることができます。

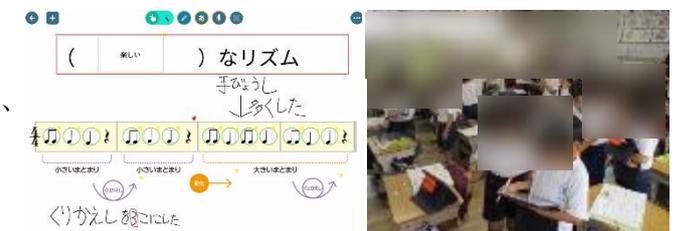
鑑賞領域においては、個々で自分の気になる場所を聴くことができるようにするためにICT機器を用いたり、学習支援ツールを用いて、児童生徒に気付かせたい音楽のよさについて、音楽を形づくっている要素や要素同士の関連に着目しやすいようにICT機器を用いたりする実践があります。

どちらの領域においても、ICT機器を活用することは、児童生徒が本時のねらいに向かって、より主体的・対話的で深い学びを進めていくことができるための一つのツールとして考えていくことが大切です。

一単位時間の学習活動の中で、ICT機器の活用方法によって、どのようなメリットやデメリットが生まれるのかを教師自身が考えることが大切です。メリット・デメリットと本時のねらいを照らし合わせながら、どのようにICT機器を活用することがベストなのかを考え、活用の仕方を工夫しましょう。



創作の授業において、協働学習支援ツールを用いることで、音符やリズムパターンの組み合わせが容易になります。何度も楽譜を変えながら、自分の思いや意図にあったリズムを創作することができるようになり、試行錯誤を繰り返し、主体的に学ぶ姿がありました。



## ICT機器を用いることでのメリット・デメリットを考えましょう。

【例】鑑賞の時間で、児童生徒が音楽を聴きます。

音楽室のスピーカーを用いてみんなで音楽を聴きますか。

それともICT機器を用いて個別に聴きますか。

ICT機器を用いるときにはイヤホンを用いますか。

### 音楽室のスピーカー

【メリット】(例)

- ・タブレット機器よりも大きな音で聴くことができるため、音楽の迫力を感じ取ることができる。
- ・弱い音の部分についても、しっかりと聴き取ることができる。

【デメリット】(例)

- ・気になる部分を繰り返し聴きたいと思っても、聴くことができない。

### 学習のねらいに適した使い方を

#### イヤホン使用

【メリット】(例)

- ・周りの音が気にならず、その音楽に集中することができる。

【デメリット】(例)

- ・周りの仲間と交流を伴った活動を進めることができない。

### ICT機器

【メリット】(例)

- ・自分の気になる部分について繰り返し聴くことができ、音楽の特徴を細かく捉えることができる。
- ・主教室以外の場所でも鑑賞活動を進めていくことができる。

【デメリット】(例)

- ・弱い音の部分については、しっかりと聴き取ることができない。

ICT機器を用いることには、メリットもデメリットもあります。本時のねらいは何かを明確にし、ICT機器を用いることでどのように学習活動がより効果的になるかを考えていきましょう。